



發行兼編輯人 川崎文治 印刷所 木村專屬警陽社

定一部金貳圓 廣五號十二 休日六日 祝日一日 發行所 警陽社 電話六三〇番

刊夕日九月九

常警論壇 食物の研究 頭本義雄 我輩は人類の思想其のものも食料と密接なる關係にあるを考ふるものであつて我

肉食をする動物がその性質の如何にも猛猛であるといふことは世人の熟知する處であるが近來不良少年少女等著しく増加したと云ふことも畢竟するに食物に大なる關係を有つて居るではないかと想像せらるゝ彼等が不正行爲をなし道徳的觀念の薄らぎつゝある所以のもの

新聞紙上等に胃腸病藥の廣告の増加したと云ふことは取りもなほさず胃腸病の増加せるを物語るものであつて吾人に不適當なる食物を攝取してゐる結果を見ることが出来やう

うごん。そば うなぎ。天井 親子丼。五もく 一品 まつや 料理 平町長橋町

御定食 御一人前十五錢 吸焼香の飯 吸焼香の飯

一ひらの色紙はよるぬと きわ木にとさならぬ花咲けるたなばた

青光を放つ金星ころあ りや君をたかきと仰ぐ吾れなる

折々によめる 明愛 雨雲とどめて里は夕な

常磐文藝 折々によめる 明愛

警城セメント會社特約店 釜屋商店 警城平町五丁目電話二一九番

親切第一 營業課 裝飾器具 電球・電線

芝浦(モートル)特約店 日立(トランス)特約店 電話機及各種乾電池 通信用器具 電機並諸機械修繕 致マス

福島縣平町 鹽屋山崎本店 電話長二七番 振替東京一九七五番

Advertisement for '味の油' (Taste and Oil) featuring a large graphic of a bowl and text for '東京支店' (Tokyo Branch).

畜力 大王 朝鮮牛直輸入 交換又ハ分讓需應 平町田町 三二三屋 電話三二二三番

松吉屋本店 電話二四一番 カフェエスズラン 電話一四五番



酒鶴仙 石城郡平窪村 松吉屋本店 電話二四一番

大谷時計店 平町三丁目電話十九番

遠藤パン 小僧さん人用(有聲塵障) 喰べてたいしい

行流新最秋今 子帽・傘洋・物洋 タシマヒ揃山澤ガノイ安 部品洋谷大

冬物流行新着 尺着モリスン 三井吳服店

### 大演習のお歸りに 攝政宮平驛へ御停車

#### 有資格者の奉送迎を 親しくお受けになる

今秋宮城縣で行はれる陸軍大演習前の第二師團旅團對抗演習は本縣相馬郡北部より宮城縣王城ヶ原に於けて行はれると云ふが尙大演習御統監に行啓遊ばされる御歸京の際は仙台發着警線廻り臨時特急列車によらせらるゝ事に内定し鐵道局ではそれ／＼準備中であるがその際本縣では原ノ町、平雨驛に御停車遊ばされ有資格者の奉送迎を受けさせられるはずで兩町當局では目下有資格者の調査中である

### 土地測量講習 出席者約百名

#### 平稅務署に於ては各町村役場吏員その他比較的簡易なる土地測量の技術に通せざる處から土地異動の願届を怠るため往々關係地圖或は臺帳の不符合を來し地租賦課上支障を生ずる場合少からざるに鑑み過般來右に關する短期間の講習會を開催し此種の缺陷を補うべく計劃中の處この程愈々今日より十二日迄同署に於て第三回土地測量講習會を開催することになつた講師は仙台稅務監督局より派遣される善で出席者は各町村役場財務主任その他百餘名に達する見込である

### 人命救助 香坂知事より

去月廿二日石城郡平窪村大字中平窪栗原恒次郎が渡邊四郎を背負ひ同村地内夏井川の假橋を渡渉中誤つて墜落溺死せんとするや直ちに激浪に飛込み協力救助した同村松本嘉久、清野祐吉、吉成實の三氏は此程香坂知事から殊勝なりとして賞金を贈られた

### 自彊術練習 松本氏來平

平町自彊術は既記の如く其後連日男子部は午前六時より平警察署演武場、婦人部は午後三時五分頃同郡内に於て練習中である

### 衛生旗を高く揚げ 沖合にコレラ警戒

#### 眞に物々しき有様

横濱附近のコレラが東京をおそひ更に千葉縣に迄侵入して今や本縣に於ても對岸の火災視することが出来なかつた爲當局に於ては最近夫々之れが豫防警戒の施設を講じ殊に石城七濱地方は先年該病發生の實例もあるので一層嚴重なる注意を拂ひつゝある旨既報の通りで小名濱町の如きは昨午衛生旗高くかかげたる警戒船が遠く港外まで出動し出船入り船の嚴重警戒に努めつ

### 栽培は有利 石城郡で奨励

#### 梨の……

石城郡内梨の主産地は平窪赤井、大野、錦その他の各村に於て數年前までは病害虫のため頗る悩まされ成績思はしくなかつたが栽培方法の發達するにつれ年々良好に向ひ最

郷村大字内町磐城炭礦専用鐵道を通行中誤つて貨車に觸れ頻死の重傷を負つた

### 白井翁歸京 過般來

### 齊藤博士遂に逝去す

#### 警中第六回卒業享年四十歲

昨報危篤の重態を傳へられた醫學博士齊藤豊氏は昨日午後五時頃東京府下大崎の親戚方にて遂に逝去した、獨逸から歸國後體軀が異狀な肥滿を來したとの事であるから多分腦溢血らしく急電に接して平町研町の實家から出發した令閨トシ子夫人や養父榮吉氏が到着する以前に息を引き取つたらしい、享年四十歲、因に齊藤博士は舊姓川角にて警中第六回の卒業生、慈惠院大學を卒業後暫らく樋口博士の研究室に學び大正十年獨逸に渡航して留學中論文を提出博士號を勝ち得たのであつて平町が生んだ最初の博士である尙ほトシ子夫人との間に十一を頭に一男一女あり今年三月歸朝以來病氣治療の爲め前記親戚方に在つて未だ郷土である平町の

### 兎の耳

飼馬の縊死 東京府下中野町六四一荷馬車運送業栗原大次郎方の馬が七日午前一時頃馬舎で首を縊つて死んでゐたので中野署に「飼馬の縊死」を差出して埋葬許可書を貰ひに來た警察でも「馬の縊死」なんて馬鹿々々しいと思ひながら獸醫に檢證させると馬はつながつておつた手綱の端を食ひ切りそれをぐる／＼と首にまきつけその一端を口にくはへて全く首を絞めて死んだことが判つた、栗原方ではこの馬がよく働いてくれたため餘程財産を作り上げたために懇ろに馬の供養をすることになつた

### 募集

#### 文藝其他投稿を募集します

不正蘭仲買人のばつこには漸く目覺めて來たらしいから生蘭取引に關する施設に關しては漸次改革運動が高まるものと見られてゐる

### 鹽屋電話増設

平町古鍛冶町鹽屋本店は従業電話二七番を使用して居たが今回營業専用として一〇番を新設した



家庭欄

### かつけの人へ

現に脚氣をわづらつてゐる人、または脚氣の症狀が見えたり、常に便秘のくせある人は毎日米のぬかをせんじて水氣を含ませて続け、

其汁を飲めば脚氣は全治します。又豫防にもなります。又絞汁はすっぱいからこれにごく少量の鹽酸を加へてのむと大變飲みよくなります。しかも効用には何の變りもありません。

### 平町人事

- △二丁目八 酒井善雄氏長男一雄
- △南町七三 五十嵐金治氏四女俊子
- △二丁目二二 佐々木茂氏五男道雄
- △南町二七 當時大坂市天王寺區村上五郎氏四女澄子
- △田町五四 齊藤繁實氏五女ケマ

### 山崎本店營業部

お醤油の御用は  
電話 一〇番へ  
電話 一〇番へ